

世 界 史

I (配点 48)

次の文を読み、(1)～(7)の問いに答えよ。

[解答番号 ～]

インド=ヨーロッパ語系に属するギリシア人は、前2000年頃にバルカン半島を南下してギリシア本土に定住し、ミケーネなどの小王国を築いた。彼らは^{ア)}クレタ島で栄えていた文明の影響を受けながら勢力を広げ、小アジアの にも遠征した。

ミケーネ文明が滅亡すると、ギリシア人はその居住地をエーゲ海一帯に広げ、前8世紀頃には、 とよばれる丘を中心に、ポリスとよばれる都市国家を各地に建設した。さらにギリシア人は地中海や黒海沿岸へと進出して植民市を建設し、本国と植民市の交易を活発に行った。

多くのポリスでは、少数の貴族が政権を独占する体制がとられたが、商工業の発達にともなって登場した富裕な平民が政治参加を要求し、^{イ)}身分闘争の末、アテネのように民主政を実現するポリスもあらわれた。一方、スパルタは、少数の市民が とよばれる隷属農民などを支配し、独特の政治体制をとった。

前5世紀前半、^{ウ)}ペルシア戦争が起こると、ギリシア側はこれに勝利した。アテネはペルシアの再来に備えるために結成された 同盟の盟主となり、同盟諸ポリスに対して支配力を強めた。この時期、^{エ)}アテネには有能な指導者があらわれて民主政が完成し、文化も栄えた。

スパルタはアテネとは別の同盟を率いていたが、こうしたアテネの動きに緊張感を高め、やがて両勢力の間に^{オ)}ペロポネソス戦争が勃発した。約30年続いたこの戦争が終わった後もポリス間の争いは絶えず、ギリシア世界の情勢は混沌化した。長期化する混乱の中、戦争では の使用が一般化して市民皆兵の原則は崩れ、ポリスのあり方そのものが大きく変化していった。

この頃、ギリシアの北方に位置するマケドニアが国力を高め、前338年の の戦いでアテネ・テーベ連合軍に勝利して、ほぼ全ギリシアのポリスを支配下に置いた。ついでアレクサンドロス大王が東方世界を征服して空前の大帝国を建てると、ポリスが生み出したギリシア文化はオリエントに広がり、約300年間に及ぶ^{カ)}ヘレニズム時代が開幕することとなった。

(1) ～ に当てはまる適切な語句を、解答群1からそれぞれ1つ選べ。

解答群1

① デロス	② ヘイロータイ	③ アゴラ	④ ペロポネソス
⑤ アルベラ	⑥ トロイア	⑦ 常備軍	⑧ カイロネイア
⑨ ティルス	⑩ アクロポリス	⑪ 傭兵	⑫ ペリオイコイ

(2) 下線部ア)に関連して、クレタ文明に関する a・b の記述の正誤の組み合わせとして最も適切なものを、下の①～④の中から1つ選べ。 7

- a クノッソスを中心に栄えた。
- b シュリーマンの発掘によって、その存在が明らかとなった。

- ① a - 正 b - 正 ② a - 正 b - 誤
- ③ a - 誤 b - 正 ④ a - 誤 b - 誤

(3) 下線部イ)に関連して、アテネの民主化に関する次の a～c の出来事を年代の古い順に並べた場合、最も適切なものを、下の①～⑥の中から1つ選べ。 8

- a クレイステネスが、陶片追放（オストラキスマス）の制度を定めた。
- b ペイストラトスが、僭主政治を行った。
- c ソロンが、財産政治を行った。

- ① a → b → c ② a → c → b ③ b → a → c
- ④ b → c → a ⑤ c → a → b ⑥ c → b → a

(4) 下線部ウ)に関連して、ペルシア戦争に関する記述として最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 9

- ① ササン朝の侵攻によって始まった。
- ② アテネは、イオニア地方の反乱を鎮圧した。
- ③ ペルシア王ホスロー1世は、アテネの重装歩兵軍に敗れた。
- ④ テミстокレスの指揮で、サラミスの海戦が戦われた。

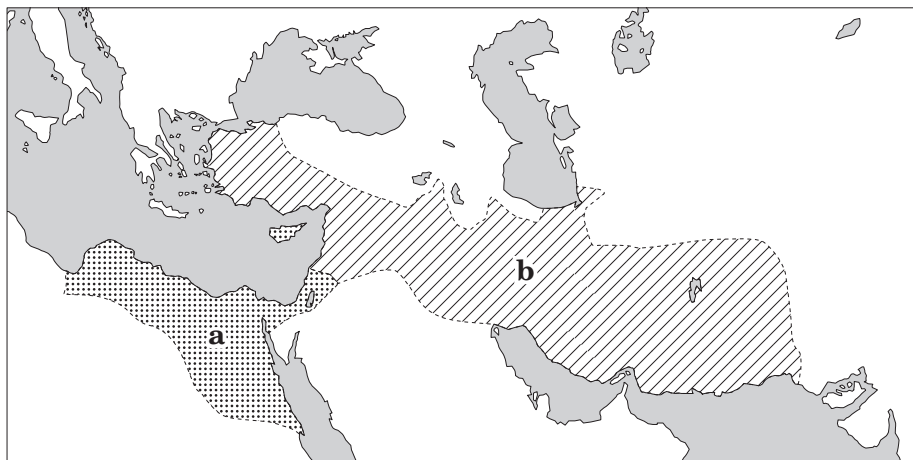
(5) 下線部エ)に関連して、民主政が完成した頃のアテネに関する記述として最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 10

- ① フィリッポス2世が、長期にわたる指導を行った。
- ② 民会の代議員は、部族ごとに投票で選ばれた。
- ③ 奴隷や女性には、参政権はなかった。
- ④ この頃、アテネではピタゴラスなどのソフィストが活躍した。

(6) 下線部**オ**に関連して、ペロポネソス戦争期に活躍した文化人・芸術家に関する記述として、波線部が誤っているものを、次の①～④の中から1つ選べ。 11

- ① プトレマイオスは、西洋医学の祖といわれる。
- ② トゥキディデスは、ペロポネソス戦争の歴史を著した。
- ③ ソクラテスは、真理の絶対性を説いた。
- ④ アリストファネスは、『女の平和』などの喜劇を生み出した。

(7) 下線部**カ**に関連して、アレクサンドロス大王の大帝国が分裂して成立した諸国のうち、地図中の a・b に当てはまる国の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。 12



- ① a - セレウコス朝 b - アンティゴノス朝
- ② a - セレウコス朝 b - プトレマイオス朝
- ③ a - プトレマイオス朝 b - アンティゴノス朝
- ④ a - プトレマイオス朝 b - セレウコス朝

II

(配点 36)

次の(A)(B)の文を読み、(1)～(9)の問いに答えよ。

[解答番号 13 ～ 21]

(A) 220年の後漢の滅亡から、589年の隋の中国統一まで、中国では魏晋南北朝時代とよばれる長く複雑な分裂時代が展開された。これをいくつかの時期に区分してみよう。

第一は、三国時代、すなわち中国が魏・蜀・呉によって三分された時代である。この時代に^{ア)}魏で始まった新しい官吏任用制は、中国社会に新たな支配層を生み出すこととなった。

第二は、晋(西晋)による一時的統一の時代である。晋は魏の実力者であった司馬氏が建てた王朝で、三国時代を終わらせて天下統一を果たしたものの、^{イ)}帝位をめぐる一族の争いで混乱し、この混乱に乗じて周辺諸民族が華北に侵入した。

第三は、東晋と五胡十六国の時代である。晋(西晋)が滅亡した後、その一族は江南に晋を再建した(東晋)。一方、華北では侵入した周辺民族が興亡を繰り返す五胡十六国の戦乱期が続いた。この混乱をきらった漢人は江南に移り住み、以後、中国では^{ウ)}江南の開発が進展した。

第四は、南北朝時代である。華北の戦乱は、^{エ)}北魏による華北統一で一旦收拾したが、同じ頃、江南では東晋にかわって宋が建国され、以後約1世紀半、北朝が華北を、南朝が江南をおさめる南北朝の時代が続いた。この時代、仏教が広まり、^{オ)}江南では六朝文化が開いた。

(1) 下線部^{ア)}に関連して、魏で始まった官吏任用制の影響に関する記述として最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 13

- ① 郷挙里選によって、新興地主の子弟である士大夫が官僚を独占した。
- ② 郷挙里選によって、豪族の中央進出が促され、門閥貴族が形成された。
- ③ 九品中正によって、新興地主の子弟である士大夫が官僚を独占した。
- ④ 九品中正によって、豪族の中央進出が促され、門閥貴族が形成された。

(2) 下線部^{イ)}に関連して、この西晋末の内乱として最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 14

- ① 八王の乱 ② 太平天国の乱 ③ 靖難の役 ④ 党錮の禁

- (3) 下線部ウ)に関連して、江南に関する次の文中の空欄 **ア** ・ **イ** に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。 **15**

江南とは、**ア** の南（あるいは下流域）をさす語で、宋代には穀倉地帯の中心となり、「**イ** 熟すれば天下足る」といわれた。

- ① ア－長江　イ－湖広
- ② ア－長江　イ－蘇湖（江浙）
- ③ ア－黄河　イ－湖広
- ④ ア－黄河　イ－蘇湖（江浙）

- (4) 下線部エ)に関連して、北魏に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 **16**

- ① 五胡の一つである匈奴が建てた。
- ② 陶淵明によって、道教が確立された。
- ③ 絵画では、院体画と文人画が成立した。
- ④ 孝文帝は洛陽に遷都し、均田制を施行した。

- (5) 下線部オ)に関連して、六朝文化に関する記述 a ・ b の正誤の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。 **17**

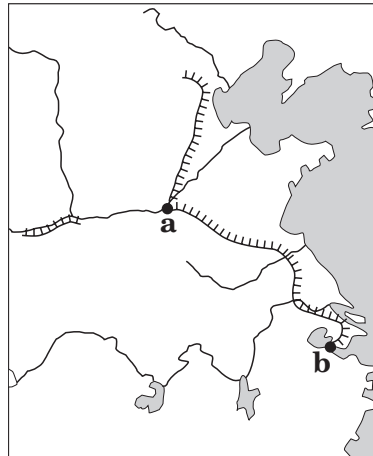
- a 李白や杜甫らが、詩の分野で活躍した。
- b 昭明太子は、『文選』を編纂した。

- ① a－正　b－正
- ② a－正　b－誤
- ③ a－誤　b－正
- ④ a－誤　b－誤

(B) 中国を統一した隋は、南北朝時代の諸制度を受け継ぎ、また新たに科挙を創始するなど、中央集権体制の確立をはかった。とりわけ、カ) 華北と江南を結ぶ大運河の整備は、南北に分裂していた中国の一体化という意味で象徴的な事業であった。隋はわずか40年たらずで滅びるが、その政策はほとんど次の唐に受け継がれた。

618年に成立した唐は、第2代太宗の時代に律令制を整備し、次の高宗の時代にかけて領土を拡大した。唐は辺境の異民族に対して羈縻政策を行うなど、巧みな間接統治でこれらを支配した。則天武后時代の混乱を経て登場した玄宗は、治世の前半には政治の引き締めを行って唐の中興の繁栄を実現した。文化も発展し、魏晋南北朝時代から引き続き栄えた仏教では、キ) 渡印を試みる中国僧もあらわれた。この頃、ク) 唐の周辺諸国がしだいに強力となって唐の脅威となり始めた。玄宗は節度使に辺境警備の役にあたらせ、彼らに大きな権限を与えた。このため、節度使の中に力を持つものがあらわれ、その一人である安禄山が755年に唐に対して反乱を起こした。この反乱は数年がかりでなんとか鎮圧したものの、ケ) 国内の様子は反乱前とまったく様変わりし、周辺諸国の勢いもますます強まった。唐は、875年に始まる黄巢の乱でその衰退を決定的にし、この反乱の中から頭角をあらわした朱全忠によって、907年に滅亡した。

(6) 下線部カ)に関連して、地図中のaは、大運河と大河の結節点に位置する交通の要地、また地図中のbは、大運河の南の起点である海港都市で、それぞれ北宋・南宋の首都として経済的に大きく発展した。a・bの都市名の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。 18



- | | | | |
|----------|-------------|----------|--------|
| ① a - 咸陽 | b - 臨安 (杭州) | ② a - 咸陽 | b - 南京 |
| ③ a - 開封 | b - 臨安 (杭州) | ④ a - 開封 | b - 南京 |

- (7) 下線部キ)に関連して、インドを訪問した魏晋南北朝～唐の中国僧に関する次のa～cの出来事を年代の古い順に並べた場合、最も適当なものを、下の①～⑥の中から1つ選べ。

19

- a 玄奘がインドに赴いた。
- b 義浄がインドに赴いた。
- c 法顕がインドに赴いた。

- ① a→b→c ② a→c→b ③ b→a→c
- ④ b→c→a ⑤ c→a→b ⑥ c→b→a

- (8) 下線部ク)に関連して、唐の周辺諸国に関する次の文中の空欄 **ウ** ・ **エ** に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。 20

ウ は、7世紀にソンツェン=ガンボによって統一された国で、唐とは争いと和平を繰り返した。また **エ** は、8世紀半ば以降強大となったトルコ系国家で、安史の乱の際には、唐に協力してその鎮圧に貢献した。

- ① **ウ**－吐蕃 **エ**－突厥 ② **ウ**－吐蕃 **エ**－ウイグル
- ③ **ウ**－渤海 **エ**－突厥 ④ **ウ**－渤海 **エ**－ウイグル

- (9) 下線部ケ)に関連して、安史の乱後の唐の状況に関する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選べ。 21

- ① 交鈔の乱発で経済が混乱した。
- ② 藩鎮が国内に割拠した。
- ③ 兩税法が施行された。
- ④ 塩の専売が重要な財源となった。

Ⅲ

(配点 36)

次の文を読み、(1)～(9)の問いに答えよ。

〔解答番号 ～ 〕

19世紀初頭のナポレオン戦争まで、イギリスとフランスは100年以上にも及ぶ激しい対立・抗争を続けてきた。ナポレオンの時代が終わり、ウィーン体制期に入ると、英仏両国は五国同盟の一員として、互いに手を結ぶ関係となった。ア) ヨーロッパ各地に広まった自由主義を求める動きに対して、ウィーン体制を支える大国が歩調を合わせて対応しなければならなかったからである。しかし、産業革命が進展し、圧倒的な経済力を持つようになったイギリスが、その他の国々と足並みをそろえられるはずもなく、やがてイギリスは他の国々とは異なる独自の動きをとるようになった。イ) 19世紀前半は、イギリス・フランスとも、国内ではさまざまな問題でゆれ動いた時代でもあった。

19世紀半ばにクリミア戦争が起こると、イギリス・フランスは共同してロシアに対抗し、その南下政策を阻止したが、これを機にロシアは自国の遅れを痛感し、ウ) 国内改革に本腰を入れて近代国家への道を歩むこととなった。

19世紀後半には、統一を果たしたドイツ・エ) イタリアが新たにヨーロッパ強国の列に加わった。とりわけドイツはビスマルクの指導のもと、統一を阻もうとするフランスを破り、ドイツ帝国を成立させた。その後ドイツは、オ) 三国同盟などヨーロッパ諸国間に同盟・友好関係の網を張りめぐらし、カ) ドイツに敗れて一部の領土を奪われたことでドイツに対する復讐心が高まっていたフランスを孤立させる動きに出た。他方、ロシアは再度南下政策を試みたが、キ) ビスマルクが1878年に主催したベルリン会議において、ロシアの拡大が阻まれたため、ドイツを憎むようになり、孤立するフランスにしだいに接近して、19世紀末に露仏同盟を締結した。ロシアはフランス資本を導入して発展し、工業が急速に成長した。

同じ頃、ビスマルクが退陣したドイツでは、ク) 「世界政策」を標榜^{ほう}して海外進出を本格化させ、海軍増強政策に乗り出したが、これは当時最強の海軍国であったイギリスを露骨に敵視する政策であった。ながら「光栄ある孤立」を誇っていたイギリスも、こうした新たな動きの中で、ケ) 20世紀初めに他国と相次いで同盟関係を構築し、こうして列強間には、三国協商と三国同盟の対立という、第一次世界大戦にいたる国際関係が形づくられていった。

(1) 下線部ア)に関連して、ウィーン体制期の自由主義運動に関する記述として最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選べ。

- ① ドイツでは、ブルシェンシャフトが改革を要求した。
- ② イタリアでは、ガリバルディがシチリア島を征服した。
- ③ ベルギーが、スペインからの独立戦争を開始した。
- ④ ロシアでは、プガチョフの農民反乱が起こった。

(2) 下線部イ)に関連して、19世紀前半のイギリスとフランスに関する記述 a・b の正誤の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。 23

- a イギリスでは審査法が制定され、アイルランドへの締めつけが強まった。
- b フランスでは、七月革命によって第二共和政が成立した。

- ① a - 正 b - 正
- ② a - 正 b - 誤
- ③ a - 誤 b - 正
- ④ a - 誤 b - 誤

(3) 下線部ウ)に関連して、19世紀後半のロシアの国内改革について、それをを行った皇帝と、その内容の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 24

- ① ニコライ1世 - 農奴解放令の発布
- ② ニコライ1世 - 新首都ペテルブルクの建設
- ③ アレクサンドル2世 - 農奴解放令の発布
- ④ アレクサンドル2世 - 新首都ペテルブルクの建設

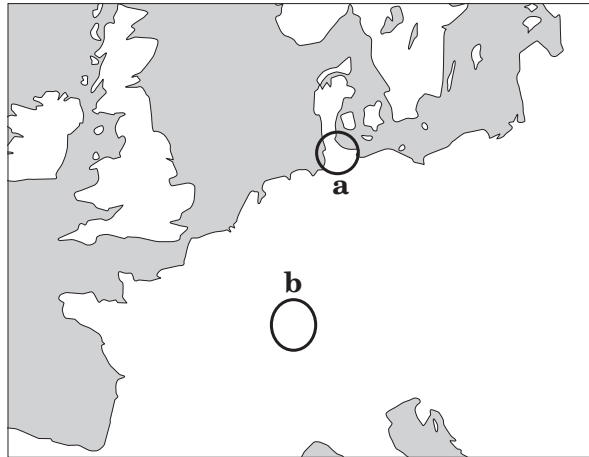
(4) 下線部エ)に関連して、イタリア王国成立(1861年)後のイタリアの歴史に関する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選べ。 25

- ① 教皇とラテラノ(ラテラン)条約を結んだ。
- ② エチオピアを併合した。
- ③ アルバニアを保護国化した。
- ④ トリエステの領有権を、フランスと争った。

(5) 下線部オ)に関連して、1882年に成立した三国同盟について、ドイツ以外の構成国2国の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 26

- ① オーストリアとブルガリア
- ② オーストリアとイタリア
- ③ ブルガリアとオスマン帝国
- ④ ブルガリアとイタリア

- (6) 下線部**カ**)に関連して、プロイセン=フランス戦争に敗れたフランスがドイツに割譲した領土の位置と、その地名の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。 27



- ① a - アルザス・ロレーヌ
- ② a - シュレスヴィヒ・ホルシュタイン
- ③ b - アルザス・ロレーヌ
- ④ b - シュレスヴィヒ・ホルシュタイン

- (7) 下線部**キ**)に関連して、ベルリン会議（1878年）における決定事項（ベルリン条約）に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 28

- ① セルビアなどの独立を承認した。
- ② ロシアは、ルーマニアを獲得した。
- ③ オーストリアは、ボスニア・ヘルツェゴヴィナの行政権を失った。
- ④ イギリスは、クレタ島を獲得した。

- (8) 下線部**ク**)に関連して、ドイツの海外進出に関する次の文中の空欄 ア ・ イ に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。

29

ドイツでは、19世紀末に即位した皇帝 ア が「世界政策」を標榜して海外進出を本格化させ、オスマン帝国から イ 鉄道の敷設権を獲得した。

- ① ア - ヴィルヘルム 1 世 イ - シベリア
- ② ア - ヴィルヘルム 1 世 イ - バグダード
- ③ ア - ヴィルヘルム 2 世 イ - シベリア
- ④ ア - ヴィルヘルム 2 世 イ - バグダード

(9) 下線部ケ)に関連して、イギリスが結んだ同盟・協商関係に関する次の a～c の出来事を年代の古い順に並べた場合、最も適当なものを、下の①～⑥の中から1つ選べ。 30

- a 日英同盟の締結
- b 英露協商の締結
- c 英仏協商の締結

- ① a → b → c ② a → c → b ③ b → a → c
④ b → c → a ⑤ c → a → b ⑥ c → b → a

IV (配点 30)

次の(1)～(10)の問いに答えよ。

[解答番号 ～]

(1) 古来、中国では歴史の節目に数多くの農民反乱が起こり、それによって王朝が倒れることもあった。中国の農民反乱に関する次のa～cの出来事を年代の古い順に並べた場合、最も適当なものを、下の①～⑥の中から1つ選べ。

- a 赤眉の乱
- b 黄巾の乱
- c 陳勝・呉広の乱

- ① a → b → c ② a → c → b ③ b → a → c
- ④ b → c → a ⑤ c → a → b ⑥ c → b → a

(2) ベトナム北部では、前4世紀頃から銅鼓を特徴とする独自の文化が栄えていたが、やがて中国を統一した秦や漢の圧力を受けるようになった。1世紀に徴姉妹の指導する反乱が起こったが、鎮圧されて中国化が進んだ。銅鼓を特徴とするベトナム古代文化のよび名として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。

- ① ドンソン文化 ② チャビン文化 ③ スキタイ文化 ④ スワヒリ文化

(3) 徴姉妹のように、女性の反乱指導者も歴史に散見される。たとえば、1857～59年のインド大反乱(シパーヒーの反乱)で活躍した小王国の王妃ラクシュミー=バーイー、20世紀のドイツでスパルタクス団の蜂起に名を連ねたローザ=ルクセンブルクらがいる。この2人がかかわった反乱に関する記述a・bの正誤の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。

- a インド大反乱では、国民会議派のネルーらも、指導者として活躍した。
- b スパルタクス団の蜂起を発端として、ドイツ革命が起こった。

- ① a - 正 b - 正 ② a - 正 b - 誤
- ③ a - 誤 b - 正 ④ a - 誤 b - 誤

(4) 近世ヨーロッパでは、14世紀のフィレンツェで起こった下層労働者によるチオンピの乱や、産業革命期のイギリスで生じたラダイト運動のように、労働者の抗議行動や反乱も頻発するようになった。背景には、経済や産業構造の変化がある。これらの事件が起こった当時のイタリアやイギリスに関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。

34

- ① フランドル地方やフィレンツェは、綿織物工業で利益を得た。
- ② フィレンツェでは、大富豪のメディチ家があらわれ、ルネサンスを保護した。
- ③ イギリスでは、まず鉄道網が発達し、それが産業革命の開始につながった。
- ④ 産業革命期には、ギルド制手工業や家内工業が発展した。

(5) 貴族や諸侯などの支配層が、国王や皇帝に対して反乱を起こすこともある。貴族や諸侯の反乱に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 **35**

- ① 呉楚七国の乱によって、前漢では封建制が定着した。
- ② 三藩の乱は、呉三桂らの藩王が康熙帝に対して起こした。
- ③ アウラングゼーブの強権策に対抗して、イスラーム諸侯はマラーター同盟を結成した。
- ④ 宰相リシュリユーの王権強化策に対して、貴族はフロンドの乱を起こした。

(6) 帝国主義時代には、列強の侵略に対する現地人の反乱も各地であいついだ。反乱や抗議運動のよび名と、それが起こった国・地域の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 **36**

- ① マフディー運動－フィリピン
- ② ウラービー運動－台湾
- ③ タバコ＝ボイコット運動－イラン
- ④ 黒旗軍による抵抗－エジプト

(7) もともと「革命」とは「天命が革まる^{あらた}」を意味する言葉で、孟子がとなえた易姓革命理論を通して王朝交替をさす語として使われた。孟子が活躍した時代として最も適当なものを、次の年表中の①～④の中から1つ選べ。 **37**

①
前11世紀 周（西周）の成立
②
前770年 春秋・戦国時代が始まる
③
前221年 秦の始皇帝による中国統一
④

- (8) 「革命」の語は、国家や社会のあり方が短時間で根本的に変わるような事件に使用され、政治的事件だけではなく、産業革命のように経済的な変化に対しても使われる。16世紀のヨーロッパにおける価格革命に関する次の文中の空欄 **ア** ・ **イ** に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。 **38**

価格革命は、 **ア** がアメリカ大陸から運んできた大量の **イ** が原因で起こった。

- ① **ア**－イギリス **イ**－香辛料
- ② **ア**－イギリス **イ**－銀
- ③ **ア**－スペイン **イ**－香辛料
- ④ **ア**－スペイン **イ**－銀

- (9) 17世紀のヨーロッパは科学革命の時代といわれ、自然科学分野における一大転換が生じた。17～18世紀のヨーロッパで活躍した科学者に関する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選べ。 **39**

- ① ジェンナーは、狂犬病の予防接種に成功した。
- ② リンネは、植物分類法を体系化した。
- ③ ニュートンは、『プリンキピア』を著した。
- ④ ボイルは、気体の圧力と体積の関係を解明した。

- (10) ロシア革命は、世界で初めて社会主義国家を樹立した社会主義革命であった。ロシア革命以外で、社会主義革命の例として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。

40

- ① 青年トルコ革命
- ② キューバ革命
- ③ トルコ革命
- ④ 辛亥革命

